相談支援事業所によるサービス等利用計画

・就職できるように頑張りたい　・他者と関わりがもてるようになりたい
・一人暮らしを目指して家事等の生活力を高めたい　etc

望む暮らしの実現に向けての目標設定

サービス事業所による個別支援計画

・サービス等利用計画書に基づいて、目標に対する障壁や課題の把握
・課題を解決する為の具体的な支援内容　etc

目標を達成するための具体的な手立て

サービスの提供・支援の提供

・個別支援計画書に基づいた、適切な支援
・個別の課題を克服する為の具体的な支援　etc

具体的な手立ての実行

連動した支援　＝　チームアプローチ

個別支援計画書（書式例）

利用者氏名：　　　　　　　　　　　　作成年月日

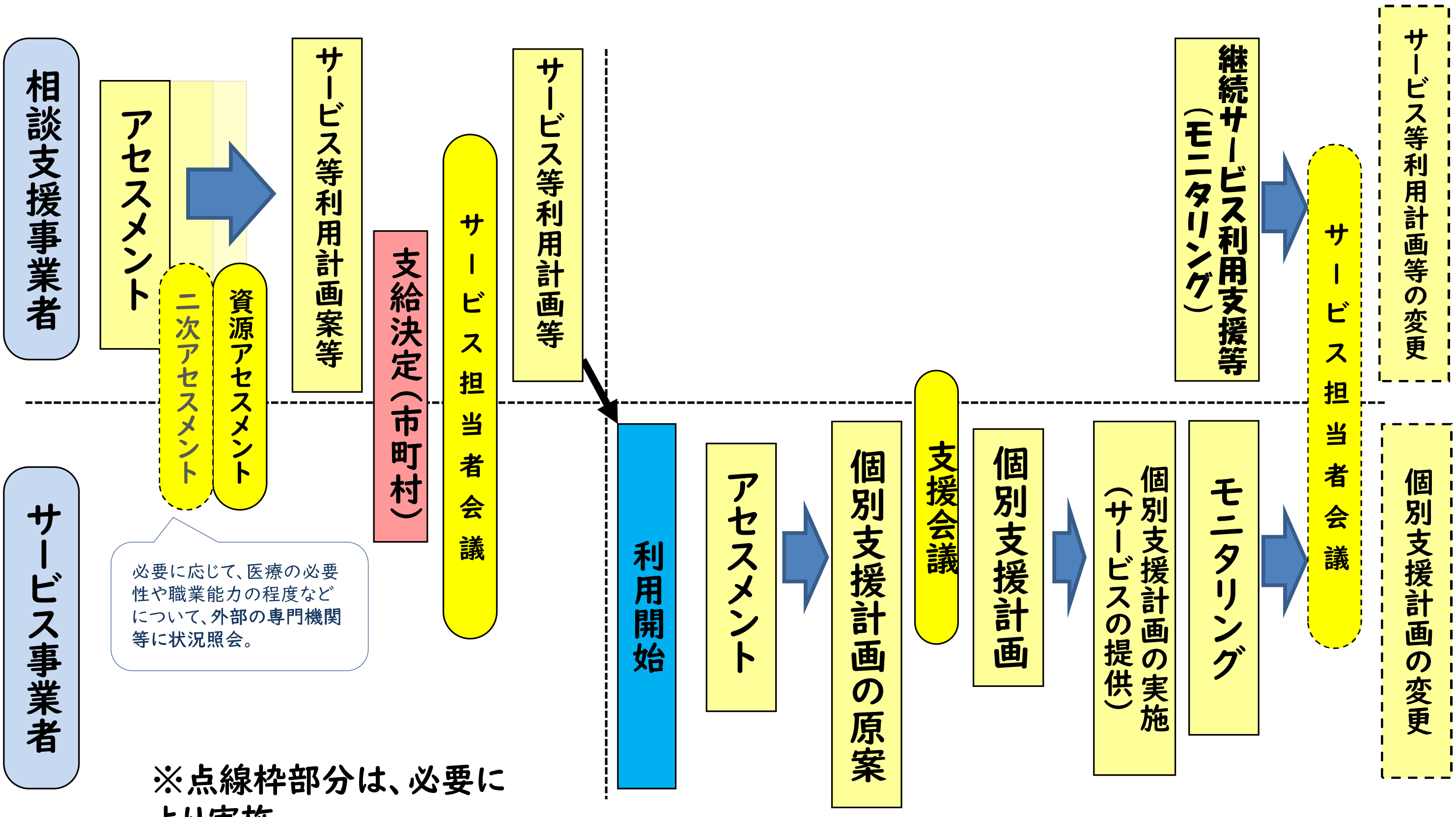
【総合的な援助の方針】	
【到達目標】	
【短期目標】	【長期目標】

具体的な到達目標及び支援計画等

具体的到達目標	本人の役割	支援内容 （内容・留意点等）	担当者	優先 順位

上記の計画書に基づきサービスの説明を受け、内容に同意しました。
同意年月日：　　　年　　　月　　　日　利用者氏名　　　　　　　　印　　サービス管理責任者氏名　　　　　　　　印

指定特定相談支援事業者（計画作成担当）及び障害児相談支援事業者と障害福祉サービス事業者の関係



※点線枠部分は、必要により実施

59

Ⅳ まとめ

60

相談支援（ケアマネジメント）とは

相談支援（ケアマネジメント）の定義は多義にわたるが、

・相談支援（ケアマネジメント）とは、障がい者の地域生活を支援するための「技法」であり、計画そのものを作る「プランニング」だけでなく、

→ご本人と相談支援事業所が出会う「インテーク」
→計画作成に当たっての「アセスメント」
→計画に基づく「実施」
→サービス提供による変化を確認する「モニタリング」
→事業所の変更やライフステージの移行に伴う「終了と事後評価」

○技法だけではなく、「本人ニーズ中心」・「チームアプローチ」・「社会資源の改善・開発」が重要な働きとなる

相談支援（ケアマネジメント）とは

【縦のマネジメント】

先見性（今後を見通す力）

利用者と一緒に将来を見通せる力に基づく、「ライフステージに合わせた支援

【横のマネジメント】

俯瞰性（全体を見通す力）

本人だけでなく、背景を考える力に基づく「関係者の協働による支援ネットワークの構築」

を実践すること。

その中心には

「本人」と「相談支援専門員」が位置していること。

相談支援専門員とは

「基本相談を基盤としてサービス等利用計画作成を行う
個別支援」だけでなく、

「協議会活動を核とした、ネットワーク構築による地域力の
向上、社会資源の開発等の地域づくり」を視野に入れ、
この両者に連続性と整合性をもって取り組むことができる人材

〇ネットワークの構築 → 地域の支援力を高める
〇相談支援（ケアマネジメント）はソーシャルワークであり
　相談支援専門員はソーシャルワーカーである

相談支援専門員に求められる資質

（1）信頼関係を形成する力
　　　利用者の思いを理解し、受けとめる姿勢
（2）相談支援に係る幅広い知識と技術の習得

①利用者の生活のしづらさの理解
②福祉分野や他の分野についての幅広い知識（制度やサービス含）
③基本的なコミュニケーション技術（対人援助技術）
④基本的な面接技術
⑤ニーズを理解し、探し出すアセスメント力
⑥チームアプローチやネットワークを形成する力
⑦社会資源を活用・調整・開発する力
⑧交渉力・調整力